

指定管理者評価シート

事業名	老人福祉センター運営管理費	所管課(電話番号)	保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課(211-2976)
-----	---------------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市厚別老人福祉センター	所在地	厚別区厚別中央1条7丁目
開設時期	平成4年4月	延床面積	1,561㎡
目的	高齢者に対する福祉の増進		
事業概要	高齢者に対する生活相談、健康相談、機能回復訓練及びレクリエーションの実施、職能訓練及び就職の指導、デイサービス事業、浴室その他の施設を高齢者の使用に供すること。		
主要施設	大広間、職能訓練室、機能回復訓練室、浴室、娯楽室		
2 指定管理者			
名称	(社福)札幌市社会福祉協議会		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターで実施しているデイサービス事業において、利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員が継続的な信頼関係を構築し、利用者が安心して利用できる環境を整えるとともに、個人の生活・身体状況を適確に把握する必要がある。 このため、指定管理期間の満了により指定管理者が変更されると、施設の設置目的の達成に支障をきたし、利用者に不利益を与える恐れがあり、管理が良好に行われている法人であることから、非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	施設管理業務、生活相談等業務、健康増進業務、教養講座業務、レクリエーション業務		
3 評価単位			
	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 令和6年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼令和6年度事業計画において、当センター管理運営に係る基本方針を下記のとおり策定した。 1 共感する 高齢者や児童、生徒などへの福祉教育活動や地域社会の課題への関心を高める活動に取り組めます。 2 育成する 高齢者が地域社会で「生涯現役」として活躍できるよう、意欲と能力に応じた社会参加の促進に取り組めます。 3 支援する 高齢者が健康で充実した生活を送れるよう、健康づくりや生きがいを高めるため、ニーズに沿った施設運営に取り組めます。 4 つなげる 当会が有する情報資源やネットワークを最大限活用し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が営めるよう地域や各関係機関との連携に取り組めます。 5 チャレンジする 地域社会を取り巻く環境変化に対応するため、新たな取り組みや見直しを行い、サービスの向上に取り組めます。 6 組織を強くする 老人福祉センターの認知度向上を図るため、組織内の部門を超えた情報共有や連携による活動の基盤(組織)の強化に取り組めます。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ▼「全ての利用者に対して、信条や性別・年齢、あるいは社会的身分等によって、合理的な理由がなく利用の制限や利用料金の減免など、不当な差別的取扱をすることなく公平中立な対応をする。」という方針を策定し、平等利用に係る心構え及び重点取組項目を事務室内に掲示するとともに、研修やミーティング等により情報を共有し、関係法令の遵守の徹底や利用者の視点に立ったサービスの提供を行った。	当センターの基本方針及び札幌市の高齢者施策、方針に基づき適正な管理運営を行うことができた。 基本方針や重点取組項目を策定し、適正に取組むことができた。	A B C D ▼仕様書に沿って適切な管理運営を行っている。 ▼法人のネットワークを活用し、職員全体で情報の共有を図り、管理水準の維持向上に取り組んでいる。 ▼資金管理について、外部監査に加え、通帳、帳票類と現金照合など、適切に管理している。 ▼利用者からの要望・苦情等への対応に当たっては第三者の意見を取り入れる体制を確立し、即時対応可能なものについてかは速やかな改善に努めている。

	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ▼札幌市社会福祉協議会の環境保全行動計画に関する要綱に基づき、エコ活動の推進に取組み、二酸化炭素排出量の削減のため、光熱水費等を節約し、環境への配慮に努めた。 ▼廃食油回収ボックスを設置した。 ▼デイサービス送迎の運転時はアイドリングストップや穏やかな発進等を実践し、エコドライブを推進した。 ▼物品等はグリーン製品購入に努めた。 ▼環境へ配慮した取組に関して職員研修を行った。	各種取組により、環境への配慮に努めることができた。								
	▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) ▼管理業務等仕様書どおり責任者・従事者を配置した。 ▼指揮命令系統、業務分担等を事務分掌にて定めた。 ▼研修計画に基づき、更なるサービスの向上のための職員研修を実施するとともに、その内容を全職員に周知する等、人材育成に努めた。なお、外部研修ではオンライン研修を実施し、内部研修については、毎月 ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 ▼札幌市社会福祉協議会で管理している施設の担当者から施設長までの各職階ごとの会議を行い、日々の業務の課題や問題点、その対応方法についての確な情報交換を行うとともに、ネットワークシステムにより各施設間において必要な情報共有を図った。 ▼職員会議や日々のミーティングを効率的に実施し、所属職員に情報共有する機会をもった。 ▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) ▼適正な施設の維持管理を行うため、専門的な知識が必要な業務を第三者に委託し、履行時の確認及び報告書等の提出を求め、必要に応じて改善・指導を行った。 ▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催) <table><tr><th>開催回</th><th>協議・報告内容</th></tr><tr><td>第1回 7月24日 (書面開催)</td><td>・令和5年度管理業務報告について ・令和6年度管理業務の進捗状況について ・厚別老人福祉センター外部改修工事について ・老人福祉センターへの不法侵入事故について</td></tr><tr><td>第2回 3月14日開催</td><td>・令和6年度管理業務報告(中間)について ・令和6年度利用者アンケート結果について ・令和7年度事業計画について</td></tr><tr><td colspan="2">＜協議会メンバー＞ 新さっぽろ町内会会長、厚別区生活支援推進員、厚別区老人クラブ柳寿会会長、教養講座講師、センター利用者、札幌市高齢福祉課職員、厚別老人福祉センター館長・副館長</td></tr></table>	開催回	協議・報告内容	第1回 7月24日 (書面開催)	・令和5年度管理業務報告について ・令和6年度管理業務の進捗状況について ・厚別老人福祉センター外部改修工事について ・老人福祉センターへの不法侵入事故について	第2回 3月14日開催	・令和6年度管理業務報告(中間)について ・令和6年度利用者アンケート結果について ・令和7年度事業計画について	＜協議会メンバー＞ 新さっぽろ町内会会長、厚別区生活支援推進員、厚別区老人クラブ柳寿会会長、教養講座講師、センター利用者、札幌市高齢福祉課職員、厚別老人福祉センター館長・副館長		各種研修へ参加し職員の資質向上に努めた。また、不祥事防止や法令遵守を目的にミーティング等を実施し、意識を高めることができた。 必要な情報の共有を図り、管理水準の維持向上に向け取組むことができた。 委託業務の履行確認を適宜行い、適正に管理することができた。 管理業務等仕様書に基づき、年2回の協議会を開催した。ご意見・ご要望等については、今後のセンター運営の参考にしている。
開催回	協議・報告内容									
第1回 7月24日 (書面開催)	・令和5年度管理業務報告について ・令和6年度管理業務の進捗状況について ・厚別老人福祉センター外部改修工事について ・老人福祉センターへの不法侵入事故について									
第2回 3月14日開催	・令和6年度管理業務報告(中間)について ・令和6年度利用者アンケート結果について ・令和7年度事業計画について									
＜協議会メンバー＞ 新さっぽろ町内会会長、厚別区生活支援推進員、厚別区老人クラブ柳寿会会長、教養講座講師、センター利用者、札幌市高齢福祉課職員、厚別老人福祉センター館長・副館長										
	▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) ▼資金管理については、「資金管理運用規程」により、資金の区分、運用の基本方針、運用対象等について定めており、規程に基づき資金の適正かつ効率的な管理運用を行った。定期的に監事監査や公認会計士による外部監査を導入している。 ▼現金等の取扱いについては、「経理規程」に基づき、「経理事務の手引き」を定め、不適切な経理事務の未然防止として、外部監査、内部監査、月末残高照合を実施するとともに、日常的に現金実査を行っている。	各規程やマニュアルに基づき、適正に管理することができた。								

	▽ 要望・苦情対応 ▼「札幌市社会福祉協議会苦情解決処理規程」及び「苦情解決処理要領」に基づき、適切に対応している。また、必要に応じて苦情を解決していく過程のなかに客観的な視点を入れることを目的とした外部の有識者3名による「第三者委員」も当法人において設置している。 ▼意見箱の設置や職員館内見守り等によって、要望・苦情を聴取し、改善できる内容は速やかに対応できるよう体制を整えている。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ▼利用者ニーズに積極的に対応するため、1～2月にアンケート調査を行い、結果を掲示した。また、意見・要望等については、可能な限り改善を行った。 ▼記録・報告については定められた基準に基づき、作成・報告を行った。 ▼札幌市の実施検査(業務検査・財務検査)の結果、指摘・改善指導事項はなかった。	要望・苦情等については迅速かつ適切に対応することができた。 意見・要望等は整理して職員会議に諮り、サービス向上につなげることができた。 実施検査の結果、指摘はなかったが、引き続き適正な事務処理に努めた。													
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼就業規則等については、各種関係法令を遵守するとともに、各職員に過度の負担がかからないよう勤務割等に配慮した。また、札幌市社会福祉協議会は札幌市からワークライフバランス企業と認証され、その実現に向け積極的に取り組んでいる。 ▼時間外労働及び休日労働に係る労使協定(36協定)など、必要な取り決めを行い、労働基準監督署に届出をした。 ▼年間10日以上有給休暇を付与される職員へは5日間以上の取得を促進した。	関係法令の遵守はもちろんのこと、勤務割も希望により配置する等、就業しやすい環境づくりに取り組むことができた。	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr> <td colspan="4">▼関係法令を遵守し、職員の雇用環境について適切な整備に努め、就業しやすい環境を整えている。</td></tr> </table>	A	B	C	D	▼関係法令を遵守し、職員の雇用環境について適切な整備に努め、就業しやすい環境を整えている。							
A	B	C	D												
▼関係法令を遵守し、職員の雇用環境について適切な整備に努め、就業しやすい環境を整えている。															
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼定期的に避難誘導・通報等の訓練を実施した。 ▼「感染症予防マニュアル」に基づき、利用者への感染対策を図った。 ▼緊急時等におけるセンター連絡体制を作成し、最短の時間で連絡可能な体制を確保した。 ▼管理業務等仕様書に適合した施設賠償責任保険に加入した。 ▼拾得物については、拾得物一覧簿に記載し、適切に処理を行った。 ▼突然の降雨時に傘の貸出しを行った。	利用者の安全を第一に必要な配慮を行い、安全を確保することができた。 特に、新型コロナウイルス感染防止について、感染予防マニュアルに基づき、徹底した感染予防対策を講じることができた。	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr> <td colspan="4">▼定期的な訓練の実施等により利用者の安全確保に努めている。</td></tr> <tr> <td colspan="4">▼高齢者利用施設として鑑み引き続き基本的な感染対策を継続している。</td></tr> </table>	A	B	C	D	▼定期的な訓練の実施等により利用者の安全確保に努めている。				▼高齢者利用施設として鑑み引き続き基本的な感染対策を継続している。			
A	B	C	D												
▼定期的な訓練の実施等により利用者の安全確保に努めている。															
▼高齢者利用施設として鑑み引き続き基本的な感染対策を継続している。															
	▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼清掃、警備、施設保全、電気工作物、施設管理、除雪業務は委託を行い、適正に管理を行った。 ▼備品台帳を備え、適正かつ効率的な備品管理を行った。 ▼駐車場の管理については、適時見回りをを行い、無断駐車防止と近隣の安全確保に努めるとともに、必要に応じて館内放送等で案内・誘導を行った。 ▼外構緑地に関しては、1日2回見回り点検を実施し、美観の保持、利用者の安全、防犯及び近隣への配慮を維持した。 ▽ 防災 ▼管理業務等仕様書に基づいた防災業務計画を策定し、年2回(6月、11月)自衛消防訓練を実施した。 参加利用者数:30人/6月、28人/11月	管理業務等仕様書に基づき、適切に管理することができた。 管理業務等仕様書に基づき、適切に管理することができた。													

(4)事業の計画・実施業務	▽生活相談等に関する業務		A	B	C	D												
	▽専門家等相談事業開催回数:12回 延べ人数:226人 (うち参加者が15人以上であった回数:10回) (令和6年度要求水準:年4回以上開催・各回参加者15人以上)	感染対策を安全に努め、要求水準を上回る開催ができた。	▼実施回数及び参加人数ともに、要求水準を上回る内容となっており、評価できる。															
	▽健康増進、機能訓練に関する業務	感染対策を安全に努め、要求水準を上回る開催ができた。	▼社会貢献として、看護実習生や近隣中学校の職業体験等を受入れ、地域社会へも貢献している。															
	▽浴室業務	換気や消毒など感染対策に努め、安全に実施することができた。																
	▽教養講座の開講に関する業務	定員の70%以上の申込があり、実施する開講種類についても要求水準を達成することができた。																
	▼月2回以上開催する健康増進に関する講座:4種類																	
	<table><tr><td>定員制</td><td>自由参加</td></tr><tr><td>健康ヨガ</td><td>舞踊</td></tr><tr><td>骨盤体操</td><td>フラダンス</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>2種類</td><td>2種類</td></tr></table>	定員制	自由参加	健康ヨガ	舞踊	骨盤体操	フラダンス			2種類	2種類							
定員制	自由参加																	
健康ヨガ	舞踊																	
骨盤体操	フラダンス																	
2種類	2種類																	
	▼月2回以上開催する教養向上に関する講座:8種類	定員の70%以上の申込があり、実施する開講種類についても要求水準を達成することができた。																
	<table><tr><td>定員制</td><td>自由参加</td></tr><tr><td>水彩画</td><td>民謡</td></tr><tr><td>絵手紙</td><td>詩吟</td></tr><tr><td>茶道</td><td>社交ダンス</td></tr><tr><td>書道</td><td>カラオケ</td></tr><tr><td>4種類</td><td>4種類</td></tr></table>	定員制	自由参加	水彩画	民謡	絵手紙	詩吟	茶道	社交ダンス	書道	カラオケ	4種類	4種類					
定員制	自由参加																	
水彩画	民謡																	
絵手紙	詩吟																	
茶道	社交ダンス																	
書道	カラオケ																	
4種類	4種類																	
	▽レクリエーション、各種行事の開催等に関する業務																	
	▼レクリエーション参加人数:4,467人 実施内容:卓球、囲碁、将棋、オセロ、読書、カードゲームなど開館日に娯楽室等を開放し、利用者相互の交流の場を提供した。 ▼各種行事参加人数:450人 実施内容:町内会合同納涼盆踊り大会、文化祭作品展示会、新春初釜 ▼年2回(6月、11月)自衛消防訓練を実施。	感染対策を継続して行事を再開した。また、レクリエーション利用の開放を行い、利用者から高い満足度を得ることができた。																
	▽高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務	地域活動の拠点となるよう地元町内会など地域の方にも積極的に開放し、施設の有効活用を図ることができた。																
	▼講座修了生の自主サークル活動の支援や地元町内会などの地域住民、老人クラブ等に空き室開放した。 利用人数9,078人 ▼地元住民の高齢者交流の場として、女性向け老人クラブ「さわやかサロン」へ空き室を開放した。 参加人数429人																	
	▽デイサービスに関する業務	施設入所や入院等が増加したため、目標値には及ばなかった。																
	利用者数(1日平均):15.9人/日(目標19.2人/日) 利用者数(延べ):4,949人(目標:5,933人) (前年度5,697人) ▼送迎、健康チェック、食事、入浴、排泄、心身機能の回復・維持、個別機能訓練、介護予防サービス、相談援助や、関係機関等との必要な連絡を随時実施した。																	

	▽ その他設置目的に関する業務 ▼社会貢献として、教員を志す学生や看護実習生等を積極的に受け入れた。 延受入人数:71人 ▼もみじ台中学校の職業体験を積極的に受け入れた。 受入人数:2人 ▼地域住民を対象にした住民集団健康健診を実施した。 参加人数:27人 ▼文化創作活動の発表と文芸を通じた交流を目的として、老人福祉センター利用者から俳句・短歌等の作品を募集し、老人福祉センター合同文集「輝き」を発行した。	大学生の体験実習や近隣中学生の職場体験を受け入れるなど、社会貢献に寄与できた。																				
(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等 <table><tr><th colspan="2"></th><th>R5年度実績</th><th>R6年度計画</th><th>R6年度実績</th></tr><tr><td>全体</td><td>人数(人)</td><td>24,043</td><td>30,000</td><td>28,760</td></tr><tr><td>浴室</td><td>人数(人)</td><td>1,952</td><td>1,900</td><td>1,846</td></tr></table> ▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件 ▽ 利用促進の取組 ▼全施設アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めた。 ▼利用者の意見要望などタイムリーなニーズを把握するため、ご意見箱を設置した。 ▼毎月、福祉のまち推進センターや地元町内会にセンターだよりを届けPRを図った。			R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績	全体	人数(人)	24,043	30,000	28,760	浴室	人数(人)	1,952	1,900	1,846	新型コロナウイルス感染症の発生前に実施していた講座の再開などを行ったが、計画を上回ることではできなかった。しかし、利用人数は増加傾向で前年度を上回ることができた。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> ▼施設全体及び浴室の利用者数は計画を下回ったものの、高齢者の生活様式はコロナ禍から変化しており、新型コロナウイルスの影響が全くないとは言いきれないため、やむを得ないものと考えられる。	A	B	C	D
		R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績																		
全体	人数(人)	24,043	30,000	28,760																		
浴室	人数(人)	1,952	1,900	1,846																		
A	B	C	D																			
(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼ホームページによりタイムリーな情報を積極的に提供した。 ▼教養講座募集時、厚別中央地区福祉のまち推進センター、下野幌町内会、新さっぽろ町内会の協力を得て、新年度講座案内を配布し、回覧依頼を実施した。 ▼他の老人福祉センターの広報誌を希望される方に配付できるよう準備し、利便性を高めるとともに、広報活動の強化を図った。 ▼講座及び各種行事等が記載されている「センターだより」を作成し、月1回配付しPRを行った。 ▼ウェブアクセシビリティ取組確認・評価表を公開した。 ▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継業務なし)	講座募集案内のチラシを町内会及び老人クラブ等へ配布したところ、新規利用者の掘り起こしに繋がった。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> ▼仕様書に沿って適切に行われている。 ▼各種広報活動により、既存利用者の利用促進及び新規利用者の獲得に繋がっている。	A	B	C	D															
A	B	C	D																			

2 自主事業その他									
	▽ 自主事業 ▼飲料の自動販売機を設置し、利用者の利便提供を図った。 手数料収入77,494円 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼清掃業務を障がい者団体に委託した。 ▼施設修繕及び物品購入は市内業者を中心に発注した。	飲料販売のため、自動販売機を設置し、利用者への利便提供を図った。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> ▼仕様書に沿った運営を行っている。 ▼市内企業の活用や福祉施策に寄与する取組を実施している。	A	B	C	D		
A	B	C	D						
3 利用者の満足度									
	▽ 利用者アンケートの結果 <table><tr><td>実施方法</td><td>令和7年1月14日から2月3日までの期間に厚別老人福祉センターを利用された方を対象にアンケート用紙を配布した。 配布数330枚 回収316枚(目標値260枚以上) (デイサービス回収48枚(目標実人員の90%以上)、家族17枚)</td></tr></table>	実施方法	令和7年1月14日から2月3日までの期間に厚別老人福祉センターを利用された方を対象にアンケート用紙を配布した。 配布数330枚 回収316枚(目標値260枚以上) (デイサービス回収48枚(目標実人員の90%以上)、家族17枚)	今年度も多くの方に協力を得ることができた。また、満足度は通所介護を除き全ての項目にて前年度を上回ることができた。施設運営に一定の評価を得た。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> ▼全ての項目において要求水準を上回る満足度となっており、利用者のニーズや要望に応じた事業が実施できている。	A	B	C	D
実施方法	令和7年1月14日から2月3日までの期間に厚別老人福祉センターを利用された方を対象にアンケート用紙を配布した。 配布数330枚 回収316枚(目標値260枚以上) (デイサービス回収48枚(目標実人員の90%以上)、家族17枚)								
A	B	C	D						

結果概要	・総合的な満足度: 目標:75%以上、結果:87.97% ・職員の接遇に関する満足度: 目標:80%以上、結果:87.97% ・専門家相談に関する満足度: 目標:80%以上、結果:85.14% ・講演、運動等事業に関する満足度: 目標:80%以上、結果:88.24% ・教養講座に関する満足度: 目標:80%以上、結果:94.55% ・レクリエーション・各種行事に関する満足度: 目標:80%以上、結果:95.44% ・通所介護等に関する満足度: 目標:80%以上、結果:利用者:80.00%、家族→82.35%、接遇→84.78%		▼特に教養講座、レクリエーション・各種行事に関する満足度90%を超える高水準となっており、ニーズに沿った事業展開ができていると評価できる。																																																																				
利用者からの意見・要望と対応	【要望】 教養講座等の種目を増やしてほしい。 【対応】 新型コロナウイルス感染症が5類に移行後、接触系の社交ダンスや発声系の詩吟、民謡の講座を再開した。新たにカラオケ講座を再開した。																																																																						
4 収支状況																																																																							
▽ 収支																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>R6年度計画</th><th>R6年度決算</th><th>差(決算-計画)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td><td>88,508</td><td>77,332</td><td>▲ 11,176</td></tr> <tr> <td> 指定管理業務収入</td><td>88,292</td><td>77,242</td><td>▲ 11,050</td></tr> <tr> <td> 指定管理費</td><td>41,361</td><td>41,602</td><td>241</td></tr> <tr> <td> 利用料金</td><td>46,563</td><td>35,170</td><td>▲ 11,393</td></tr> <tr> <td> その他</td><td>368</td><td>470</td><td>102</td></tr> <tr> <td> 自主事業収入</td><td>216</td><td>90</td><td>▲ 126</td></tr> <tr> <td>支出</td><td>86,908</td><td>76,632</td><td>▲ 10,276</td></tr> <tr> <td> 指定管理業務支出</td><td>86,802</td><td>76,605</td><td>▲ 10,197</td></tr> <tr> <td> 自主事業支出</td><td>106</td><td>27</td><td>▲ 79</td></tr> <tr> <td>収入-支出</td><td>1,600</td><td>700</td><td>▲ 900</td></tr> <tr> <td>利益還元</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>法人税等</td><td>1,600</td><td>700</td><td>▲ 900</td></tr> <tr> <td>純利益</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)	収入	88,508	77,332	▲ 11,176	指定管理業務収入	88,292	77,242	▲ 11,050	指定管理費	41,361	41,602	241	利用料金	46,563	35,170	▲ 11,393	その他	368	470	102	自主事業収入	216	90	▲ 126	支出	86,908	76,632	▲ 10,276	指定管理業務支出	86,802	76,605	▲ 10,197	自主事業支出	106	27	▲ 79	収入-支出	1,600	700	▲ 900	利益還元	0	0	0	法人税等	1,600	700	▲ 900	純利益	0	0	0	利用料金収入は大幅に減収となったが、収支のバランスをとるよう努めた。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">▼業務収入は計画より減少したものの、業務支出も計画より抑制できており、収支のバランスがとれている。</td></tr> <tr> <td colspan="4">▼引き続き、支出の抑制に努めるとともに、利用者の回復や利用者満足度向上に関する取り組みを積極的に行い、収支のバランスを図るよう努めていただきたい。</td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	▼業務収入は計画より減少したものの、業務支出も計画より抑制できており、収支のバランスがとれている。				▼引き続き、支出の抑制に努めるとともに、利用者の回復や利用者満足度向上に関する取り組みを積極的に行い、収支のバランスを図るよう努めていただきたい。			
項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)																																																																				
収入	88,508	77,332	▲ 11,176																																																																				
指定管理業務収入	88,292	77,242	▲ 11,050																																																																				
指定管理費	41,361	41,602	241																																																																				
利用料金	46,563	35,170	▲ 11,393																																																																				
その他	368	470	102																																																																				
自主事業収入	216	90	▲ 126																																																																				
支出	86,908	76,632	▲ 10,276																																																																				
指定管理業務支出	86,802	76,605	▲ 10,197																																																																				
自主事業支出	106	27	▲ 79																																																																				
収入-支出	1,600	700	▲ 900																																																																				
利益還元	0	0	0																																																																				
法人税等	1,600	700	▲ 900																																																																				
純利益	0	0	0																																																																				
A	B	C	D																																																																				
▼業務収入は計画より減少したものの、業務支出も計画より抑制できており、収支のバランスがとれている。																																																																							
▼引き続き、支出の抑制に努めるとともに、利用者の回復や利用者満足度向上に関する取り組みを積極的に行い、収支のバランスを図るよう努めていただきたい。																																																																							
▽ 説明																																																																							
・指定管理費収入は、「賃金スライド制度」と「光熱費高騰」に伴う協定を改定したため、計画より241千円の増となった。 ・利用料収入は、昨年度に続きデイ利用者の後期高齢化から、入院・入所・逝去など「利用廃止」が多く、計画より11,393千円の減となった。 ・指定管理業務支出は、再雇用職員の採用や物品購入の節制、水道光熱費の削減などにより、計画より10,197千円の減となった。 ・自主事業収入は、実習生受入の要請が減少したことから、研修受入費が計画を下回った。																																																																							
<確認項目> ※評価項目ではありません。																																																																							
▽ 安定経営能力の維持		適	不適																																																																				
・運営管理は、指定管理費及び通所介護事業の介護保険収入で行われており、支出の抑制も図りながら収支のバランスをとり、安定した経営に努めている。																																																																							
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応		適	不適																																																																				
・個人情報保護については、札幌市社会福祉協議会の「個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき適正に対応している。 ・情報公開については、札幌市社会福祉協議会の「情報公開規程」に基づき透明性の確保に努めている。なお、請求は0件であった。 ・暴力団の排除については、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、施設を暴力団の活動に使用させないことや、協定に関する契約については暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないように努めている。なお、暴力団関係と思われる相手方の利用や契約の実績はなかった。																																																																							

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
▼基本的な感染対策を継続しながら、利用者が安心安全に利用できるよう努めた。 ▼コロナ禍により開講を見合わせていた発声系のカラオケ講座の再開や卓球、囲碁の開放を拡大した。また、健康セミナー、交通安全教室、盆踊り大会、新春初釜などの行事の再開、新規でスマホ教室を実施した。利用者数は前年度比で約5千人の増加につなげることができた。残念ながら年間目標の3万人を達成することはできなかったが、約半年間センター外部改修工事を実施していた中で順調に利用の増加となった。 ▼近隣中学校の職場体験としてセンターを活用してもらい、多世代交流や「働くこと」を学んでもらうことができた。	▼引き続き、基本的な感染対策を行い、安心安全な施設運営を行う。 ▼利用者対応や処遇については、利用者目線に立って対応し更なる満足度向上を図る。 ▼利用者ニーズを的確に捉えて、各種事業や行事などの内容に反映させていく。 ▼各関係機関との連携をより密にし、地域のニーズに沿った取組を展開するとともに、チラシ等の町内会への回覧・広報さっぽろへの掲載などの広報活動を通して、老人福祉センターに対する認知度を高め、利用者増を図る。また、行事等の参加者の募集にあたっては、センター所在地の町内会で積極的に協力してくれており、今後も連携しながら取組んでいきたい。 ▼引き続き、節電や節約などの経費削減の継続と、利用者が満足するサービス提供の維持向上に取り組んでいく。 ▼ボランティアに関する情報提供や研修会を開催し、ボランティア等社会参加活動の普及・啓発・育成を推進する。 ▼利用者の健康増進のために、引き続き、専門家による相談事業や運動等の事業を実施し、利用者の健康維持、向上に寄与する。 ▼近隣地域の各種学校へ職場体験など学習機会の場を提供する。
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
▼施設の設置目的等に沿って適切に運営が行われており、新型コロナウイルスにより休止していた講座の再開や卓球、囲碁の開放を拡大するなど、利用者のニーズを踏まえた事業展開ができていると評価できる。 ▼地域における関係機関との連携を密にするとともに、引き続き、地域貢献活動・社会貢献活動を積極的に実施することで、センター利用者増に繋げるよう今後の取組にも期待したい。	